

栄養クリニック 4年間の歩み

〔はじめに〕

平成20年7月、本学の教育研究機関として始動した栄養クリニックも、間もなく5年目を迎えようとしている。来年度は、新たに建設された研究所棟へ活動の拠点を移し、より一層活動の充実、発展に取り組んでいく決意である。そんな節目となる年を前に、開設から4年間の活動実態を企画別に数値で振り返ってみることとした。

〔料理教室・テーブルコーディネート講座〕

料理教室は、食事の楽しさ、健康増進・疾病予防、食文化の伝承等、毎回様々なテーマで実施しており、料理を通して市民の方々に栄養と健康、食生活のあり方を学んでいただく重要なプログラムである。テーブルコーディネート講座では、季節感のある食卓や文化的豊かさのある食空間など、豊かな心を育む食卓演出法を紹介している。

過去4年間の両教室の実施回数、及び参加者数の推移を図1、2に示した。

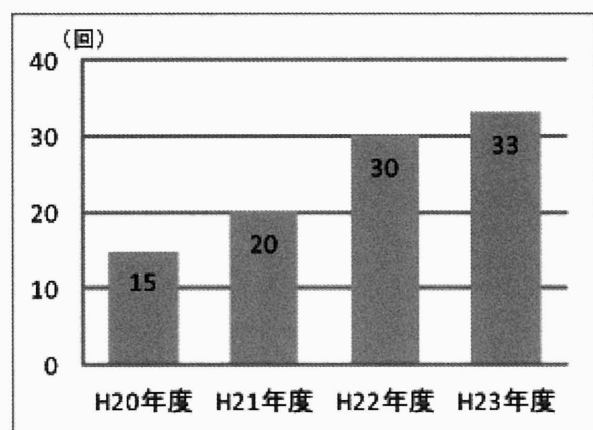


図1 料理教室等 実施回数

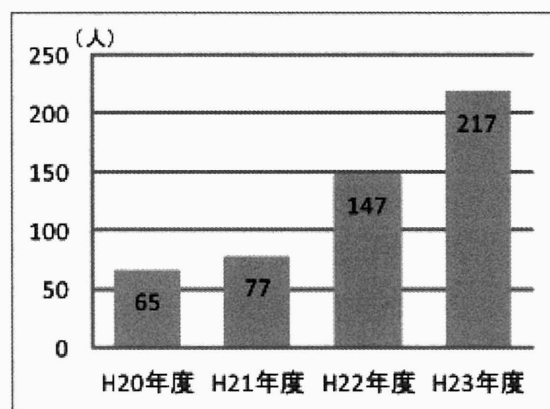


図2 料理教室等 参加者数

当施設は一般住宅を改修したもので、大規模な調理設備、試食室を持たないことから、参加定員は料理教室で6名（一部4名または8名）、テーブルコーディネート講座は10名と設定している。当初は参加者が少なく、定員に満たない教室も目立ったが、口コミなどにより、徐々に認知度が高まり、現在では申し込みが定員の2～3倍に達することも稀ではなく、常にキャンセル待ちの状態である。参加者のほとんどがリピーターであり、当事業への満足度の高さが伺える。

〔栄養アセスメント〕

当事業は一般市民を対象に、栄養アセスメント及び栄養相談を行い、参加者が自らの生活を振り返り、望ましい食生活を送るための支援を行うものである。学内での活動のみならず、学

外イベントにおける出張栄養アセスメントも積極的に実施している。平成22年度からは、大学地域連携事業として東山区高齢者を対象とした健康相談イベントにも取り組んでおり、地域に密着した活動に力を入れている。

年度毎の実施数と参加者数を下記に示す。

平成20年度	実施数	6回、参加者	728名
平成21年度	実施数	5回、参加者	770名
平成22年度	実施数	11回、参加者	1,813名
平成23年度	実施数	5回、参加者	485名

平成22年度は、学園創立100周年の年にあたり、記念事業として学内外で様々なイベントが開催された。当栄養クリニックも記念イベントに参加させて頂き、述べ1,100名もの市民の栄養アセスメント及び栄養相談を行った。

〔公開講座・講演会〕

食と健康に関する情報提供、普及啓発を目的とし、学内外で公開講座や講演会を実施している。地域住民、医療・福祉従事者、教育関係者等、対象者に合わせて、「おいしさと健康」、「骨粗鬆症予防」、「介護食の栄養と調理」、「食育の重要性」、「すこやか食で健康長寿」等、様々な内容で講演を行っている。

年度毎の実施数と参加者数を下記に示す。

平成20年度	実施数	7回、参加者	576名
平成21年度	実施数	2回、参加者	182名
平成22年度	実施数	5回、参加者	274名
平成23年度	実施数	5回、参加者	303名

テレビや雑誌、インターネット等、様々なメディアで食、健康に関する情報が溢れる現代において、正しい知識や情報提供の必要性はますます高まっていくと考えている。今後も大学での研究成果を社会へ還元する方法として、健康情報の発信に努めてゆきたい。

【その他の活動】

その他、卒業生のための生涯学習や、専門職を対象とした研究会、本学附属小学校における食育、研究活動、e-learningシステムによる健康・栄養コンテンツの作成、児童学科との共催による子育て支援等、様々な活動を行っている。

この4年間の活動を振り返ると、地域貢献に関わる事業が多く、地域密着型の施設として社会の多様なニーズに応じた特色ある活動を行ってきた。今後もこれらの活動をより一層発展させるとともに、大学の教育研究機関として、研究・教育活動の充実にも力を注いでゆきたい。

(姜 貴順)